

未来を守る、世界とつながる
そのために今、私たちにできること

薬物乱用防止 アジア・アフリカ地域 国際フォーラム 2026

DAY1

11/25 (水)

14:00 ~ 18:00

会場：KDDI 維新ホール

DAY2

11/26 (木)

10:00 ~ 16:00

メインホール (山口県山口市)

※新山口駅北口直結

入場無料

事前申込制



(公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター (DAPC)

理事長 藤野彰

1951 年山口県生まれ。1980 年に国連に採用され国際麻薬規制に携わる。国際麻薬統制委員会 (INCB) 事務局次長、国連薬物・犯罪事務所 (UNODC) 南アジア・太平洋地域センター代表などを歴任。



ウガンダ・ユース・ディベロップメント・リンク (UYDEL)

事務局長 ロジャース・カシリエ

青少年育成および薬物乱用防止の分野で 30 年以上にわたり活躍する、アフリカを代表する専門家。世界薬物防止連盟 (WFAD) の副会長を務める。

その他にも国連関係者、専門家、NGO 関係者が集い、薬物問題の現状と対策を共有し、薬物乱用のない未来に向けた国際的な協力のあり方を考えます。

世界でいま、何が起きているか

最新の研究と各国の実践から、薬物問題と乱用防止の「今」と「未来」を考えます。

- 世界の薬物問題 “今どうなっているのか”、国連薬物・犯罪事務所が最新動向を解説
- アメリカの若者と大麻を取り巻く現状とは――部州の合法化で社会に何が起きているか？
- 最新研究から見る「大麻」の実態――アメリカの研究者による科学的知見
- アジア・アフリカの若者と指導者が語るディスカッション――世代や国を超えて考える「薬物乱用防止」

事前申込制

右の QR コード、もしくは公式サイトよりお申込ください。(会場・オンライン)

※車椅子での参加を希望される方は、申込時に事前申請をお願いいたします



公式サイト

当日のプログラムなどはこちら(随時更新)

<https://dapc.or.jp/forum2026/jp.html>



主催：公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター (DAPC) / 共催：ウガンダ・ユース・ディベロップメント・リンク (UYDEL)
後援：外務省 厚生労働省 山口県 一般社団法人日本ライオンズ

お問い合わせ：(公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター forum2026@dapc.or.jp

記念すべき初開催に向けて 地域的国際フォーラムが目指すところ

(公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター (DAPC) は、薬物乱用に至る門を世界において閉ざすため、“国連支援募金”※を含め、長年にわたってさまざまな活動をして来ました。

近年、志を同じくするアジア・アフリカ地域の NGO と連携しながら、特に若者に焦点を当てた薬物乱用防止のための、非公式“国際プラットフォーム”構築に向けて、歩みを進めて来ました。

同じ方向を目指す“列車”と一緒に乗り、具体的で実践的な知識・情報・方法を共有する“場”を創り上げるためです。

この国際プラットフォームを、まずアジア・アフリカの地域間で具体的に始動させるべく、2026 年 11 月に山口県にて、連携する各国 NGO 団体、国際機関、日本政府関係機関などからなる、初めての地域的国際フォーラムを開催します。

目的はふたつ：

- ① 国際プラットフォームの運用メカニズムを構築、その始動を世界へ向けて発信します。
- ② 相互の創意・工夫に基づき、乱用防止のための革新的手法を見出します。

併せてこの非公式の国際プラットフォームを
さらに世界のさまざまな地域に広げるため、
新たな一步を踏み出すことを宣言します。

※国連支援募金について

当財団が主体で、1993 年から実施している薬物乱用防止のための募金運動です。
集められた寄付金は、国連薬物・犯罪事務所 (UNODC) を通じて開発途上国等での
薬物防止活動を行う NGO 団体の支援に充てられています。

公益財団法人

麻薬・覚せい剤乱用防止センター

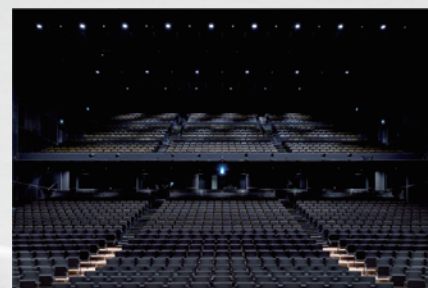
理事長

藤野 彰

(元 UNODC 事務局長特別顧問)



KDDI 維新ホール
(新山口駅 北口直結)



ご寄付のお願い

皆様のお力を薬物乱用防止啓発の活動に寄与させていただきたく、
ご寄付のお願いをいたします。
なお、当財団は、公益財団法人の認定を受けておりますので所得税
法上の所得控除、法人税法上の損金算入が認められています。



オンラインはこちら



United Nations
Office on Drugs and Crime